

注意点1



チキン・ピッキングの基本動作を確認しよう

チキン・ピッキングは、カントリー・スタイルから生まれたテクニックで、低音弦側をピックでピッキング（フラット・ピッキング写真①）し、高音弦側を右手中指と薬指で引っ掛けるようにピッキング（フィンガー・ピッキング、写真②）する奏法。基本的には、フラット・ピッキング時にはブリッジ・ミュートを行ない、フィンガー・ピッキングではしっかりと弦を下から引っ掛けて実音を出すと良いだろう。このミュート音の“プチッ!”と実音の“パチンッ!”が“コッカー!”という鶏の鳴き声に似ていることからこの名前が付いたようだ。2本の弦をピックと右手中指で外側から挟む感じで押さえ、まずはピックによるダウンと右手中指によるアップをくり返し練習しよう。ザックを目指して頑張れ!



① フラット・ピッキングは、通常のピック弾きとなっている。ブリッジ・ミュートをかけるようにしよう。



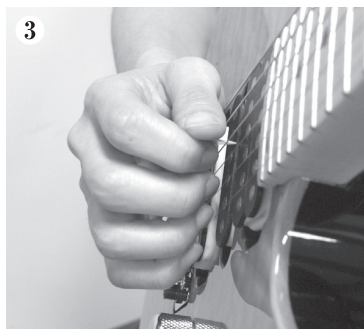
② フィンガー・ピッキングは、右手中指で弦を下から真上の方向に引っ掛ける。弦が指板に当たるような感じになること。

注意点2

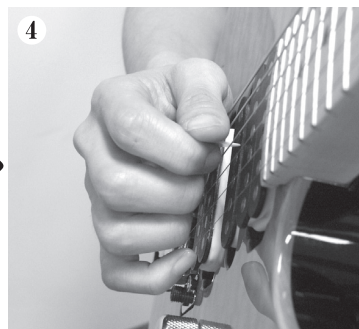


中指と薬指を用いた和音フィンガー・ピッキング

実際にこのフレーズを弾く際には、チキンならではの弦移動フレーズが登場する前半部分と、ピックによるアップ・ピッキングに似た弾き方をするチキン・ピッキングが登場する後半部分を分けて練習すると良いだろう。ここで特に注意してもらいたいのが、和音をフィンガー・ピッキングで弾く2小節目だ(写真③&④)。ここでは、2本弦を右手の中指と薬指を同時に引っ掛けて鳴らすのだが、1本指で行なうのと同じように弦を真上に引っ掛けるようにしよう。ここで中指と薬指で音量のバラつきが出ないように注意すること。中指と薬指の音量を同じにするためには、普段から右手中指で練習したら、同じフレーズを薬指でも練習すると良いだろう。



③ ピックによるダウン・ピッキング。中指と薬指を2本弦の下にしっかりと潜り込ませておこう。



④ 2本弦をフィンガー・ピッキング。中指と薬指ともに第1関節を曲げて、真上方向に引っ掛けよう。

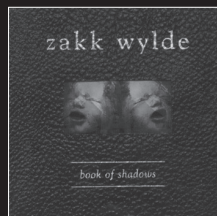
～コラム 34～

地獄の戯れ言

ここでは、ヘヴィメタル系で登場するチキン・ピッキングの名プレイを紹介しよう。まずはザック・ワイルドの「デッド・アズ・イエスタデイ」。サザン・ロックに影響を受けたザックは、この曲でメタル・ギタリストとは思えない見事なチキン・ピッキングを披露している。このほかの曲でもザックは、豪快なチキン・ピッキングを聴かせているのでチェックしよう。次はインペリテリの「セヴンティーンズ・センチュリー・チキン・ピッキング」。この曲ではスキッピングを弾くためにチキン・ピッキングを用いたそうだが、カントリーとは正反対の超絶プレイを聴かせている。タイトルに“チキン・ピッキング”と入っているのも面白い。

プロに習え!

チキン・ピッキング名プレイ紹介



ザック・ワイルド
「デッド・アズ・イエスタデイ」
from「ブック・オブ・シャドウズ」



インペリテリ
「セヴンティーンズ・センチュリー・チキン・ピッキング」
from「スクリーミング・シンフォニー」